

平成30年7月

第46回北海道中学校柔道大会
参加中学校長 様

平成30年度北海道中学校体育大会
第46回北海道中学校柔道大会
実行委員会 委員長 阿部 典子
(公印省略)

平成30年度北海道中学校体育大会
第46回北海道中学校柔道大会
事前連絡等の送付について(依頼)

盛夏の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より北海道中体連の事業推進に対しましては特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、各地区の激戦を勝ち抜き第46回北海道中学校柔道大会へのご出場を心よりお祝い申し上げます。

さて、今夏の大会を目前に控え、各方面の協力を得ながら実行委員会としても全力を傾注し準備を進めているところです。

つきましては、連絡事項等を事前にお知らせし、大会の円滑な進行を図りたいと思えます。お手数とは存じますが、本ホームページ上で公開しております下記内容につきまして、監督・選手および外部指導者、保護者、関係者の方々へのご周知をよろしくお願いいたします。

記

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 事前連絡事項 | 1部(2頁) |
| 2 | 湿原の風アリーナ釧路会場図・周辺図 | 1部(2頁) |
| 3 | 式典隊形図 | 1部(4頁) |
| 4 | 計量についての注意事項 | 1葉 |
| 5 | 外部指導者へのお願い・権限 | 1部 |
| 6 | 保護者へのお願い | 1葉 |
| 7 | 暴力・体罰・セクハラ等の禁止について | 1葉 |

以上

[連絡先] 実行委員会事務局(釧路市立春採中学校内)
事務局長 阿部 勇介
Tel 0154-41-5831 Fax 0154-41-5832 事務局携帯 090-1381-8961
事務局アドレス E-mail kushiro_jikkoiinkai@yahoo.co.jp

平成30年7月9日

第46回北海道中学校柔道大会
大会参加中学校監督 各位

実行委員会事務局



平成30年度 北海道中学校体育大会
第46回 北海道中学校柔道大会
事前連絡事項



1 駐車場について

以下の内容に関わり、部活動指導員・外部コーチ、選手貸切バス運転者、応援保護者及び関係者への事前周知をお願いいたします。

- (1) 資料綴「1 湿原の風アリーナ釧路会場図・周辺図」の4P「釧路市大規模運動公園周辺案内図」、5P「湿原の風アリーナ釧路駐車場案内図」の割当に従い駐車してください。
- (2) 駐車場警備員、駐車場係の誘導に従ってください。
- (3) 事故は自己責任となりますので、安全に気をつけて走行、駐車してください。
- (4) 釧路市陸上競技場附属駐車場、及び釧路市大規模運動公園内の駐車場以外のスペースへの路上駐車を固くお断りします。

2 開場について

- (1) 7月25日(水)は13:00、26日(木)は8:30、27日(金)は8:00に開場いたします。

3 公式練習について

- (1) 7月25日(水)は14:00から17:00まで、26日(木)は8:45から11:15まで、27日(金)は8:15から9:30までとします。
- (3) 練習開始時刻以前に試合会場、練習会場への入場はできません。

3 非公式計量・公式計量について

- (1) 計量会場は、資料綴「湿原の風アリーナ釧路会場図・周辺図」の1頁目「1階会場図」でご確認ください。
- (2) 25日(水)非公式計量の時刻は14:00から17:00までです。
- (3) 26日(木)公式計量は、同封資料「3 計量についての注意事項」に基づき行います。
- (4) 計量は団体戦、個人戦の順に行います。場内アナウンスの案内に従って下さい。
- (5) 団体戦、個人戦ともに出場する選手は、それぞれ別に2回計量してください。

4 柔道衣検査について

- (1) 柔道衣検査会場は、同封資料綴「湿原の風アリーナ釧路会場図・周辺図」の1頁目「1階会場図」でご確認ください。
- (2) 柔道衣検査は、必ず計量を終えてから受けて下さい。

5 式典について

- (1) 資料綴「3 式典隊形図」で隊形と要領をご確認ください。
- (2) 場内アナウンスで集合を開始し、競技役員の誘導に従って整列を速やかに行えるよう、選手に事前指導を行ってください。
- (3) 26日(木)団体戦表彰式の後に全国大会用の集合写真を撮影するので、男女の優勝チームは、その場に残り担当者の競技役員の指示に従ってください。
- (4) 26日(木)全国大会団体戦出場校の集合写真撮影後、27日(金)閉会式後は記念写真撮影のための保護者入場を一時的に許可します。入退場は場内アナウンスに従って下さい。

5 監督会議について

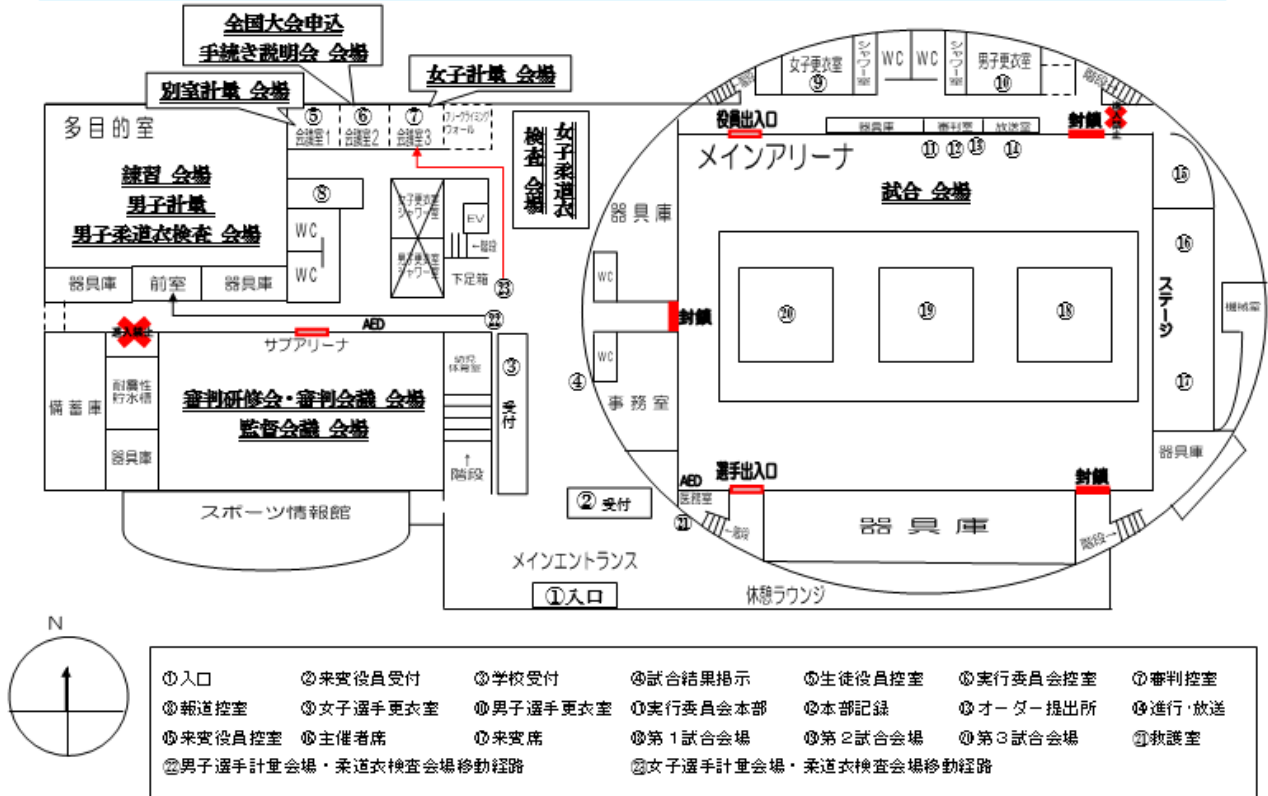
- (1) 会場は、同封資料綴「1 湿原の風アリーナ釧路会場図・周辺図」の1頁目「1階会場図」でご確認下さい。
- (2) 各中学校監督のみの参加とします。
- (3) 計量結果を配布いたします。団体戦出場中学校は会場内の配布場所よりお持ち下さい。

7 その他

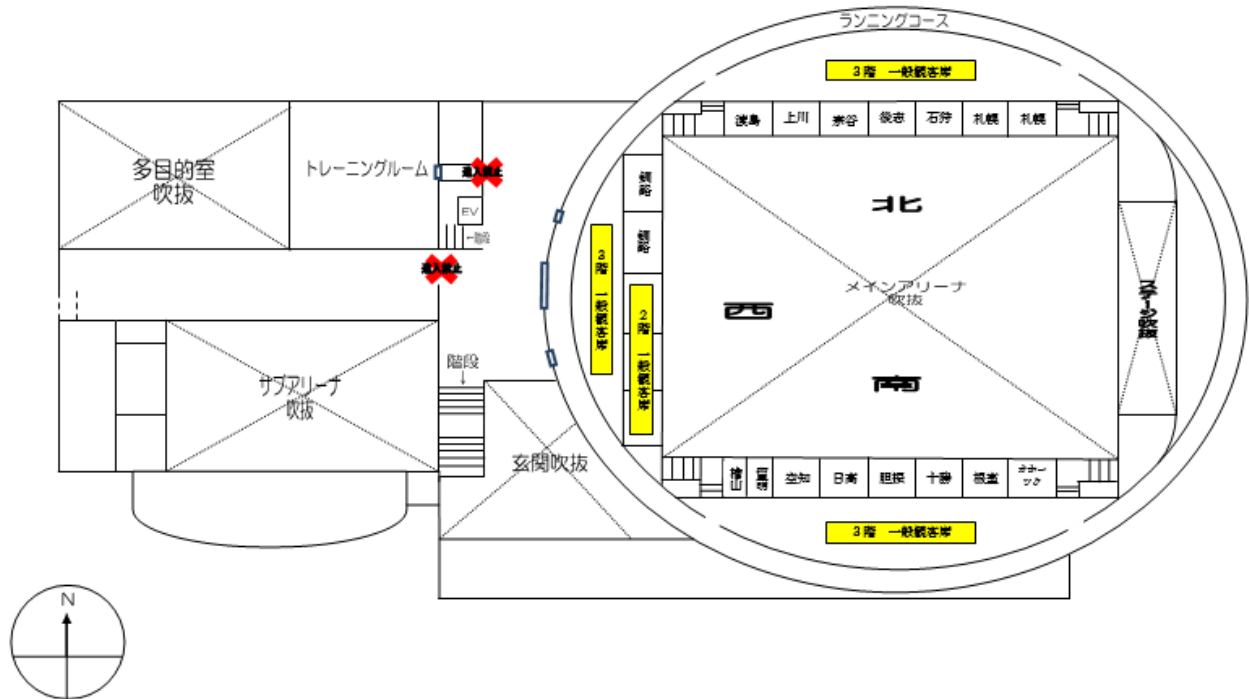
以下について、選手、部活動指導員・外部コーチ、保護者及び関係者への事前周知をお願いいたします。

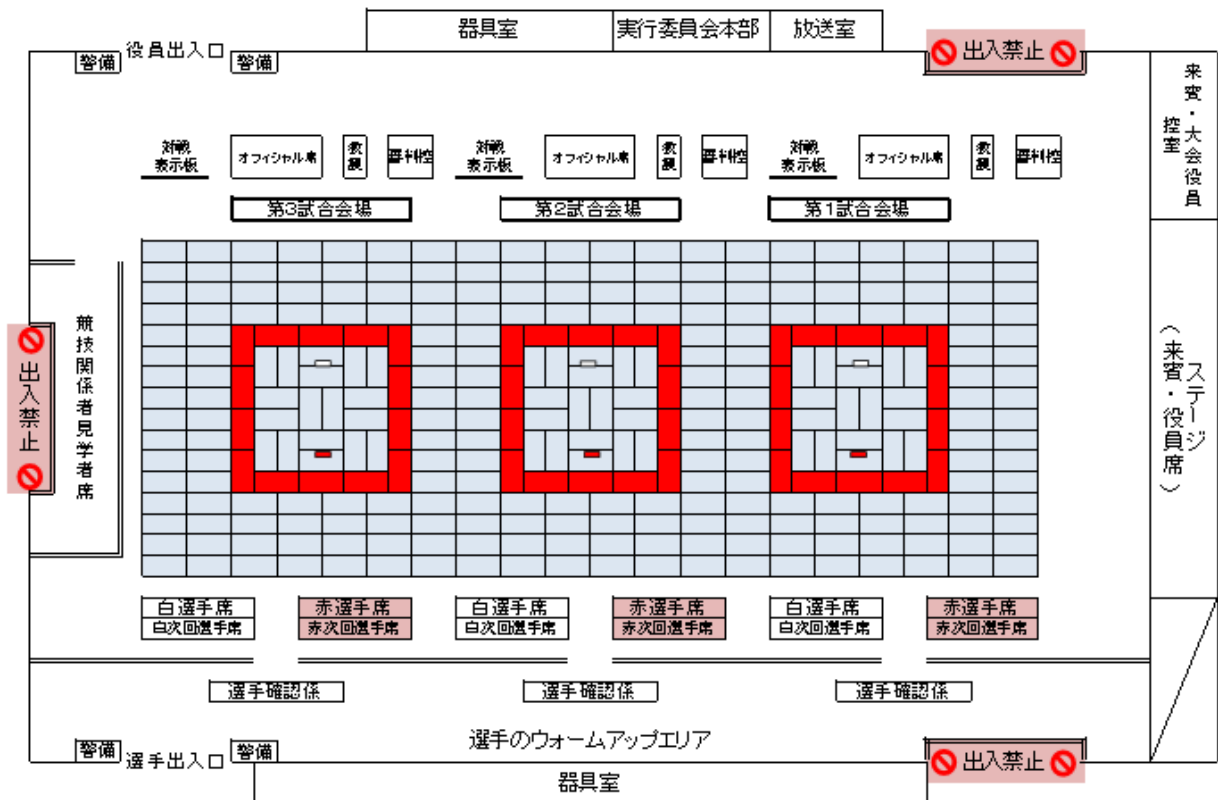
- (1) 外靴は施設所定の下足置きをお願いいたします。下足置き場は数に限りがありますので、「靴袋」を持参してください。
- (2) 更衣は1F更衣室か、管内毎に割り当てられた2F選手座席で行い。荷物は選手座席で中学校毎での管理となります。整理整頓に努めて下さい。
- (3) 試合会場・練習会場内は水分補給のみとし、食事は観客席か休憩ラウンジでお取り下さい。
- (4) 実行委員会でゴミ箱は設置しておりませんので、ゴミはそれぞれで持ち帰りください。
- (5) 「宿泊確認書」の事前提出に協力下さい。「北海道中学校柔道専門委員会WEB」より書式をダウンロードして必要事項を入力したデータを以下のアドレスに送信して下さい。
URL : <http://zsr.s201.xrea.com/zcj15/index.ht>
E-mail : zdcj2010@gmail.com ※件名：宿泊確認書[〇〇中]で送信してください。
- (4) 全道大会に参加する選手として、プレーは勿論、施設利用やマナーもスポーツマンらしい行動を取るようご指導ください。

湿原の風アリーナ釧路 1階会場図



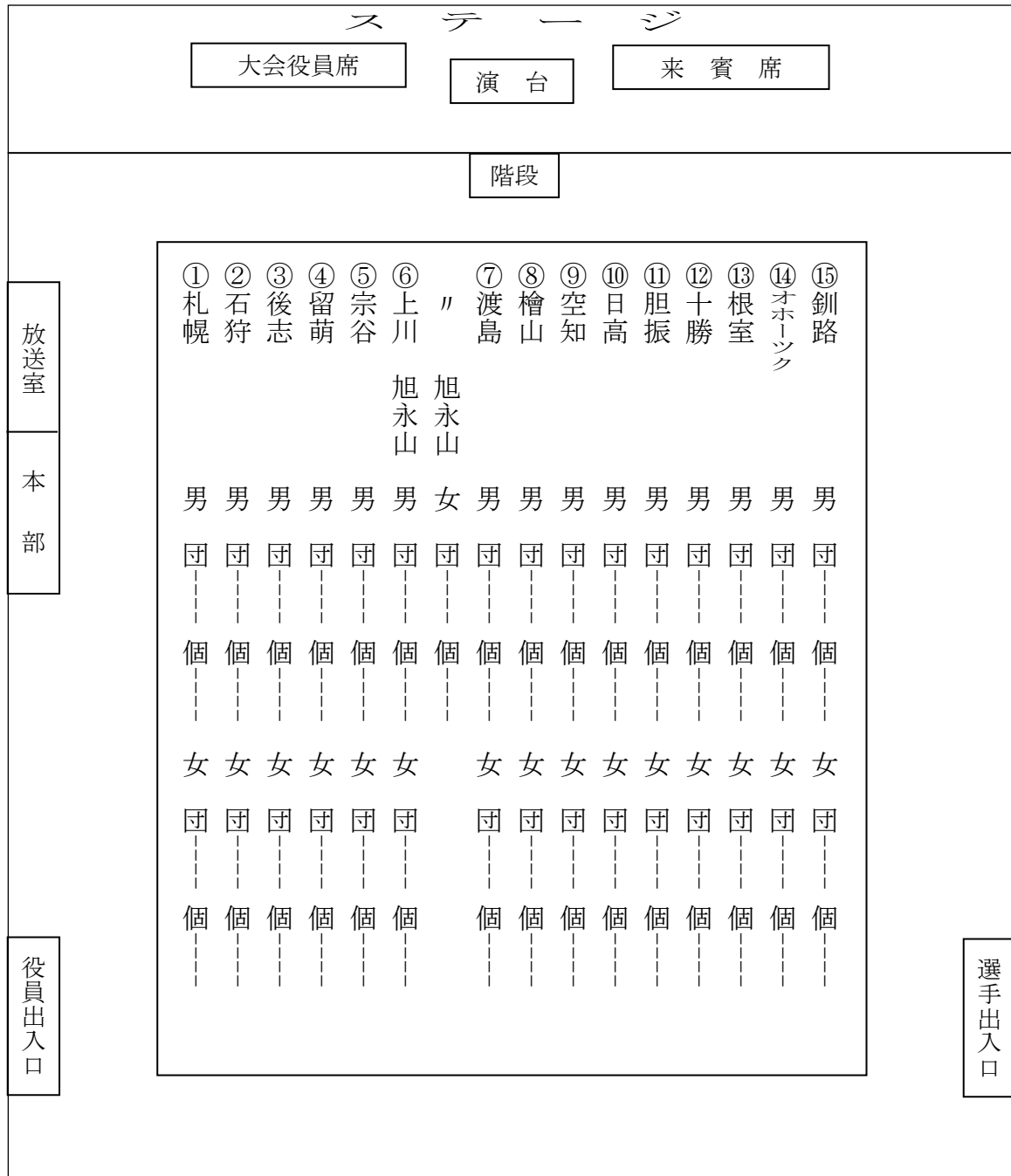
湿原の風アリーナ釧路 2階平面図





湿原アリー会場図・周辺図 2

1 開会式の整列について



(1) 開会式入場について

① 開会式の時間短縮のため省略する。

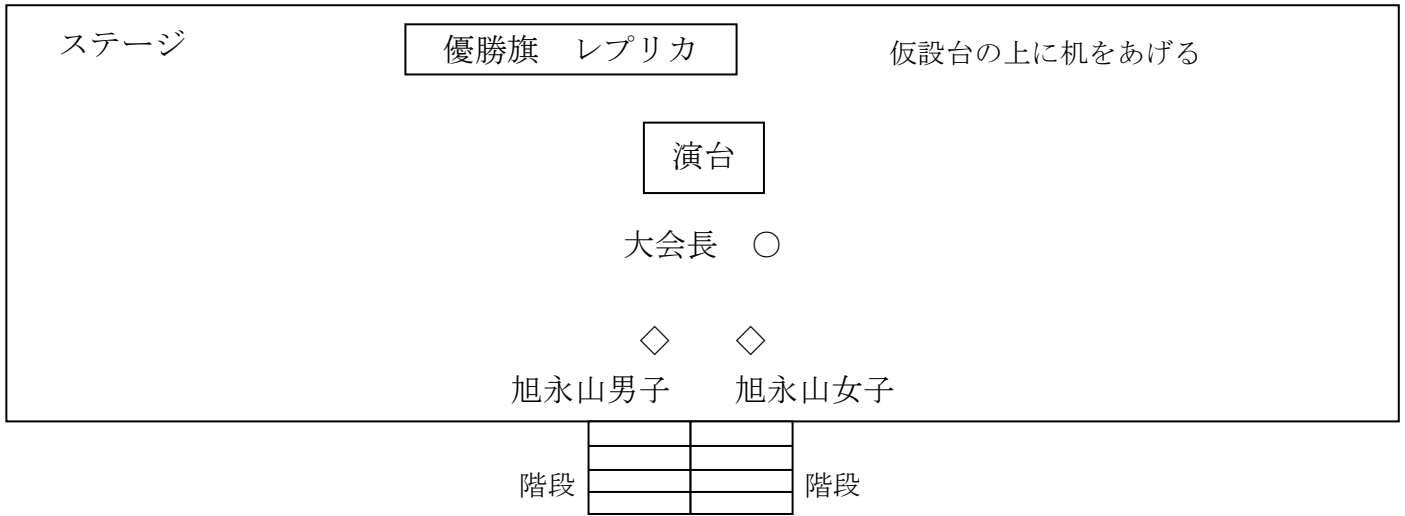
(2) 集合について

- ① アナウンスで集合開始。館内名表示の後ろに1列縦隊で整列する。
- ② 整列順は、男子・女子の順でそれぞれ、前：団体戦出場校、後：個人戦出場者（階級順）となるようにする。
- ③ 団体戦出場校のない管内は、個人戦出場者が前に詰めて整列する。
- ④ 昨年度、男女ともに団体戦優勝校の旭川市立永山中学校は上川管内の先頭に整列する。
- ⑤ ○○○立○○中学校の宣誓選手は釧路管内の先頭に整列する。

(3) 開会式退場について

開会式後はその場解散とする。

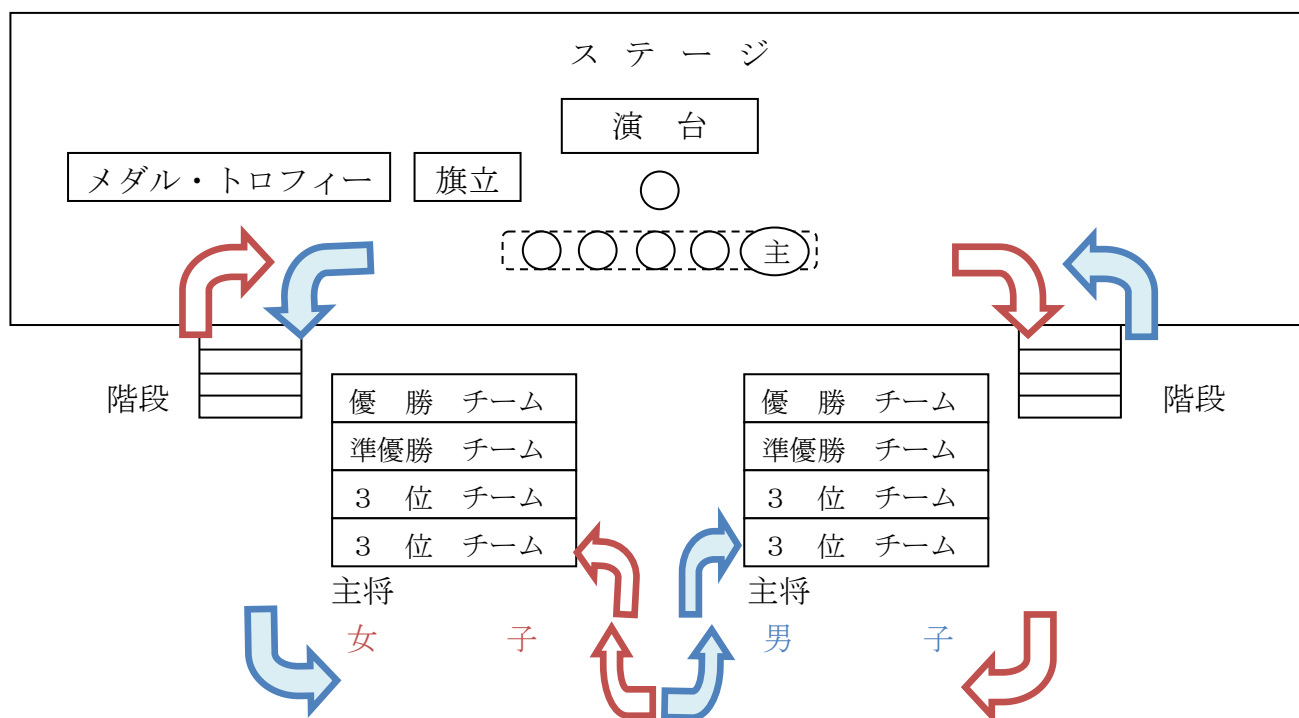
2 優勝旗返還の礼法について



★ 優勝旗返還する選手は、自分の管内の先頭に並ぶこと。

- (1) 司会が「**優勝旗返還。前年度優勝校の代表は前へお進み下さい。**」と言ったら 中央の階段を上り、大会長(◇の場所)の前に早歩きで移動する。
- (2) 二人そろったら、二人合わせて、礼をする。
- (3) 司会が「**前年度男子団体優勝校、旭川市立永山中学校**」と言ったら、大会長の前に移動し、大会長に礼をし、優勝旗を渡す。
 ※旭川市立永山中学校女子はそのまま立っている。
優勝旗の返還は、右上から左上に持ち替えて渡す。
- (4) 優勝旗を渡しレプリカを受け取ったら、礼をし、元の位置(◇の場所)へ移動する。
- (5) 司会が「**前年度女子団体優勝校 旭川市立永山中学校**」と言ったら、大会長の前に移動し、大会長に礼をし、優勝旗を渡す。
 ※旭川市立永山中学校男子はそのまま立っている。
優勝旗の返還は、右上から左上に持ち替えて渡す。
- (6) 優勝旗を渡しレプリカを受け取ったら、礼をし、元の位置(◇の場所)へ移動する。
- (7) 女子の返還が終了し、二人そろったら、二人合わせて礼をする。
- (8) 礼をした後、早歩きで、自分の地域の先頭の場所に戻る。

1 団体戦表彰式



※上記のように、直接整列する。

※男子は、ステージに向かって、右手階段を上がり、左手階段を降りる。

※女子は、ステージに向かって、左手階段を上がり、右手階段を降りる。

(1) 団体戦表彰式入場整列について

- ① アナウンス後集合。
- ② 競技役員の誘導に従って整列する。

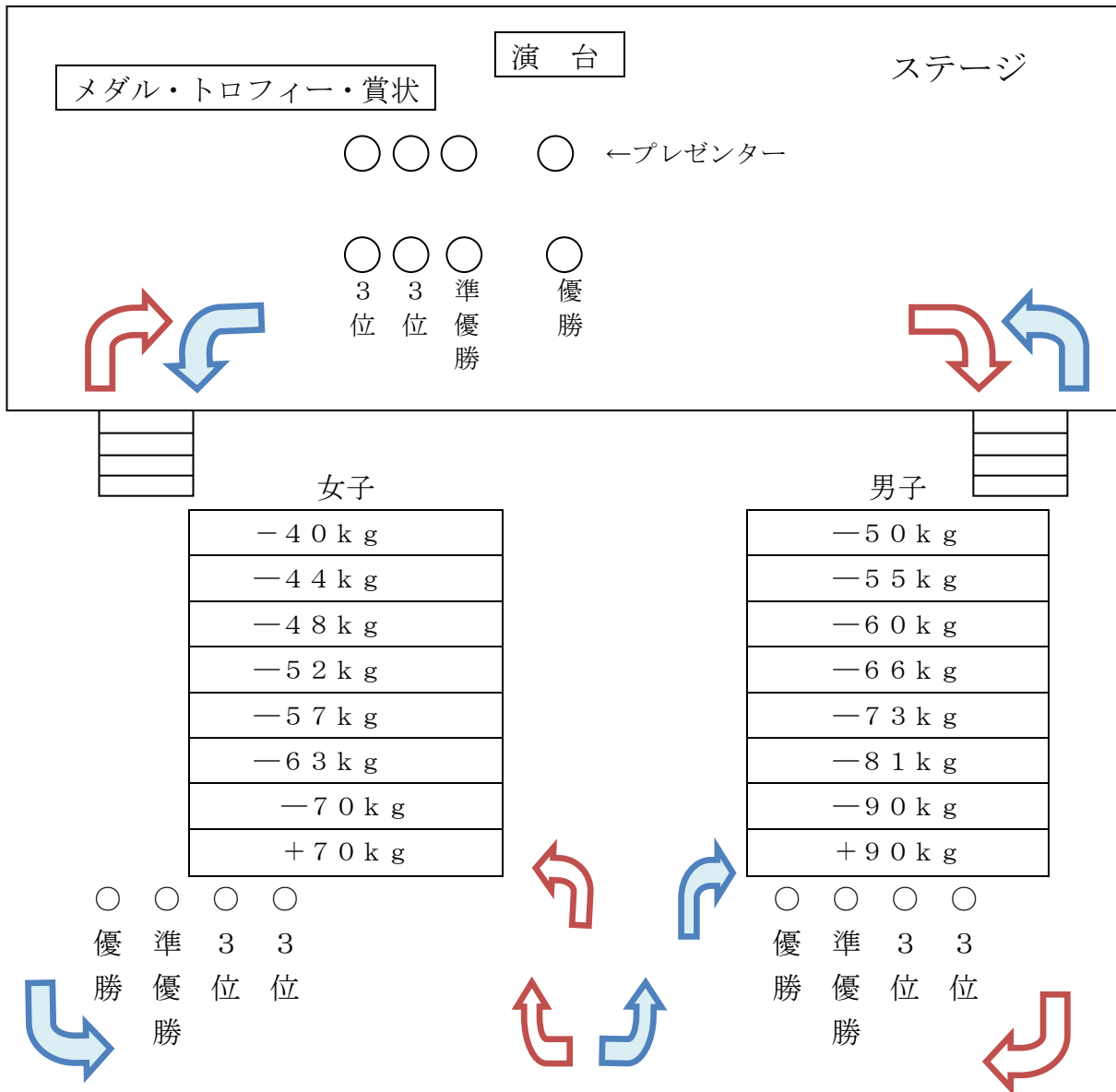
(2) 表彰要領

- ① 団体戦終了後、ステージ上にて表彰を行う。
- ② 優勝チームに、北海道中体連から賞状・優勝旗・メダル（全員）、北海道柔道連盟よりトロフィーが、準優勝及び3位のチームには北海道中体連より賞状・メダルが授与される。
- ③ 呼ばれたチームは演台前に1列に並び、残りのチームは1列前に移動する。
- ④ 次に代表者が授与者の前に並び（優勝チームは3名、その他1名）賞状、優勝旗、トロフィーの順に受け取る。
- ⑤ その後、一斉にメダルの授与を行う。
- ⑥ 表彰が済んだチームは最後列へ移動する。
- ⑦ 表彰順は、男子団体優勝→準優勝→第3位の順に行い、続いて女子団体優勝→準優勝→第3位の順に行う。
- ⑧ 司会の指示で、その場で解散する。全国大会出場校は、その場に残って集合写真を撮影する。

(3) 退場について

- ① 司会の指示で、その場で解散する。

1 閉会式並びに個人戦表彰式



(1) 集合要領・整列順について

- ① アナウンスの指示で舞台前に集合。
- ② 個人戦入賞者は階級毎に左から順位順に一行横隊で整列する。

(2) 表彰方法について

- ① 閉会式中、舞台上で表彰伝達を行う。
- ② 優勝者には、道中体連より賞状とメダル、道柔連よりトロフィーが準優勝および第3位入賞者には道中体連より賞状とメダルが授与される。
- ③ 表彰順は、男子50kg級から順位4人同時に表彰を行い、続いて女子の40kg級より順に表彰する。
- ④ 授与完了後、階級毎に男女の最後列に移動する。

(3) 退場について

- ① 司会の指示で、その場で解散する。

平成30年7月

計量についての注意事項（事前のお知らせ）

第46回北海道中学校柔道大会

実行委員会 計量係

1 団体戦(補員も含む)及び個人戦に出場する選手全員

大会第1日目の7/26(木)の公式計量(8:45~9:30)において上着を脱いで計量を行う。計量は団体戦・個人戦別々に2回計量しなければならない。未計量の場合は失格とする。

<計量の時間帯> 7/26(木)

	8:45~9:05	9:10~9:30
男子	団体	個人
女子	個人	団体

2 公式計量の前日に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。

7/25(水)14:00~17:00 公開練習の時間帯

3 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。

4 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は原則として認めない。

5 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。

なお、下着の着用は認めるが、包帯サポーター等の着用は一切認めない。

6 計量会場は下記の通りとする。

*別室計量が必要なものはあらかじめ申し出ること。

	1	2	3	4	5	6
男子 多目的室	札幌市1・2 石狩	留萌 宗谷 上川	後志 空知 日高	渡島 胆振 十勝	根室 檜山 オホーツク	釧路 開催地 開催管内
女子 ロビー奥	札幌市 石狩 留萌	空知 後志 上川	空知 日高 渡島	胆振 十勝 根室	オホーツク 檜山	釧路 開催地 開催管内

ア、団体戦 ○チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。

○公式計量には監督が立ち会うこと。

○順番の入れ替え等があった場合は通知する。

イ、個人戦 ○定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。

○監督は計量場所には入れない(指定場所にて待機すること)。

外部指導者（コーチ）の皆様へのお願い

北海道中学校体育連盟会長

藤井 勲一（公印省略）

外部指導者（コーチ）の皆様には、日頃より本連盟の事業推進にあたりまして、特段のご理解とご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

現在、部活動は生涯にわたってスポーツに親しむ能力や態度を育て、健康の増進や体力の向上を図り、生徒の自発的・自主的な活動を育成することを目的とし、学校教育活動の一環として行われています。

本連盟ではその趣旨を踏まえ、現状の生徒数や指導教員の減少に対応するため、北海道中学校体育大会に外部指導者（コーチ）のベンチ入りを認めています。

また、本連盟では勝利至上主義的な考えに立った外部指導者（コーチ）の導入は図るべきでないと考えております。校長先生が「学校の実情を十分踏まえた指導をお願いできる」と認めた方に依頼しております。

しかし、ここ数年の全道大会において、外部指導者（コーチ）のマナーを逸脱した行為が多く報告されていることは非常に残念でなりません。

外部指導者（コーチ）の皆様には、外部指導者（コーチ）導入の主旨をもう一度よくご理解の上、北海道中学校体育大会への参加をお願いいたします。

なお、大会事務局からの再三の注意にも関わらず改善が見られない場合、大会実行委員会と協議の上、外部指導者の登録を取消し、大会会場から退場していただくこともありますのであらかじめお知りおき下さい。

【外部指導者（コーチ）の立場】

1. 部活動の運営においては、必ず当該学校の校長・教員を配置し、外部指導者が単独で運営することはできない。また、その責任者は当該学校の校長・教員とする。
2. 大会の引率や校地外での活動における引率はあくまでも当該学校の校長・教員とし、外部指導者（コーチ）のみで行うことはできない。
3. 外部指導者（コーチ）は、中体連会議、監督会議の出席はできない。競技中のベンチ内における行為については競技規則に準ずる。また、種目ごとの「外部指導者（コーチ）の押さえと権限」の範囲で指導を行う。

柔 道	<ol style="list-style-type: none">1. 外部指導者（コーチ）の資格を正しく確認し、トラブルを防止するため、外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）を参加申込書と一緒に実行委員会へ提出する。2. 大会期間中の外部指導者（コーチ）は会場への入場及びコーチ席への着席を認めるが監督の代理はできない。監督会議には出席できない。コーチは審判員に準じた服装をすること。
--------	--

道中体連第 88 号

平成 30 年 7 月 9 日

北海道中学校体育大会

参加校応援保護者 様

北海道中学校体育連盟

会 長 藤井 勲一

(公印省略)

北海道中学校体育大会における応援保護者の皆様へのお願い

初夏の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより本連盟の事業推進にあたりましては、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年も 7 月下旬より、道内の運動部活動に取り組んでいる中学生が最大の目標にしている北海道中学校体育大会が始まります。本大会では、毎年多くの保護者や応援の皆様より、熱い声援と大きな拍手をいただき、子ども達も充分にその力を発揮しているところです。しかし、ここ数年、子ども達が一生懸命に試合に取り組んでいる姿とは別に、一部の応援者の事故やトラブルが報告されてきております。具体的には、喫煙場所以外での喫煙、吸い殻やゴミなどの放置、駐車禁止場所への駐車(違法駐車を含む)、会場内への土足などです。また、それらの件について、実行委員会の担当者が注意を促しても従っていただけなかったり、中には担当者に掴みかかってきたような例も報告されております。

また、剣道・ソフトボール・軟式野球・卓球・ソフトテニス・陸上競技においては、観客席からの指導及びサインを出すなどの行為はルールで禁止されております。そのような行為が発見された場合は競技を中断しなければなりません。

北海道中体連は、スムーズな大会運営を目指し、応援の保護者の皆様にも大会時のお願いやマナー等をわかりやすく説明できるよう努力して参ります。しかし、開催地の事情により、十分な環境を整えられない場合があることもご理解いただきたいと思います。参加者も応援者も運営者も、大会に係わった皆が気持ちよく大会に参加できることを願い、ここにお願いの文書を配布させていただきます。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

中学生の運動部活動に関わる全ての指導者の皆さまへ

(公財) 日本中学校体育連盟

暴力・体罰・セクハラ等の禁止について（通知）

中学生の運動部活動に関わる全ての指導者の皆さまが、全国各地で熱心な指導に取り組まれていることに心より感謝します。日々の授業、生徒指導、学級経営や保護者対応及び様々な調査への対応など、ますます多忙となっている中での指導は、時間的、体力的に、また精神的にも大変なエネルギーを必要とされております。その中での指導に対し、心より敬意を表します。

顧問として指導されている運動部を自分自身も経験しており希望された方もいる反面、学校事情により希望ではなく担当されている方も多いのではないかと思います。また、外部指導者として主に技術力向上に力を発揮されている方々にも多く関わっていただいております。

多くの方々の熱意と努力により、中学生の約65%が入部している運動部活動が運営されています。この運動部活動を通して生徒たちは、自主性や社会性を育みながら充実した学校生活を送っています。

平成27年夏に約9千人の中学3年生を対象とした本連盟の部活動に関する調査によると、入部理由の1番は、男女とも約70%の生徒が「楽しみたい（楽しみたかった）」でした。2番目は「上手になりたい（上手になりたかった）」という結果でした。

多くの生徒は、各競技の楽しさを知り、多くの仲間を得て、頑張る心を身に付け、指導していただいた方々に感謝をして卒業しています。

しかし、残念ながら指導の中で、暴力・体罰、言葉や態度による人格の否定、セクシャル・ハラスメントなど、生徒の人権を傷つける行為がなくなる現実もあります。一部の指導者の行為が、多くの指導者に迷惑をかけています。その行為が生徒たちのスポーツ・運動に向かう熱意を削ぐことにも繋がっています。絶対に許すことの出来ない行為です。

生徒たちの技術がなかなか伸びない。試合で勝てない。自分の考えや気持ちが、生徒に十分に伝わらない。このようなとき、あなたの態度や表情はどのようになっているでしょうか。生徒のためと考えている行動は、もしかすると、自分の精神的不安定感や指導力不足が原因ではないかと振り返っているのでしょうか。

また、周りの指導者に暴力等、許されない指導をしている人はいないでしょうか。「止めようよ」の一声を勇気をもって発することのできる教育環境でありたいものです。

運動部の元気さ、明るさ、前向きな姿勢は、学校を元気にしてくれます。まとまるエネルギーとなります。スポーツの力は多くの人たちに夢と希望と感動を与えてくれます。これらの力を発揮するには、運動部活動の指導に関わる全ての人が、生徒を大切に、教育者としての愛情を持って正しい指導を行うことが不可欠です。

本連盟が作成に関わってきたスポーツ界における暴力行為根絶宣言等（本連盟HP参照）を確認し、各競技の指導を通して人間性豊かな生徒を育てると同時に、指導に当たる私たちも感性豊かな教育者として向上に努めていきましょう。

最後に、平成27年3月13日にコーチング推進コンソーシアムから発表された『グッドコーチに向けた「7つの提言」』を参考に示しておきます。指導理念の根幹として、改めて認識いただければ幸いです。

- 1 **暴力やあらゆるハラスメントの根絶に全力を尽くしましょう。**
- 2 **自らの「人間力」を高めましょう。**
- 3 **常に学び続けましょう。**
- 4 **プレーヤーのことを最優先に考えましょう。**
- 5 **自立したプレーヤーを育てましょう。**
- 6 **社会に開かれたコーチングに努めましょう。**
- 7 **コーチの社会的信頼を高めましょう。**

中学生の運動部活動に関わる全ての方が、笑顔で充実した毎日が送れることを期待しております。

全ての運動部で「**暴力0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆**」を実感しましょう。